

小出地区まちぢから協議会 令和7年9月運営委員会 次第

日時：令和7年9月18日（木）19時～

場所：小出地区コミュニティセンター 大会議室

1 開会

2 小出地区まちぢから協議会 会長あいさつ

3 議事

（1）部会以外の団体からの活動報告、お知らせ等

（2）各部会からの活動報告等

- ・ 社会福祉部会
- ・ 子ども育成部会
- ・ 防災部会
- ・ 地域活動部会
- ・ 県道七曲り整備部会
- ・ 下寺尾遺跡部会
- ・ 環境保全部会
- ・ 広報部会

（3）その他

4 今後のスケジュール

- | | | | | |
|------------|-----------|---------|--------|------|
| ・ 市民集会 | 9月28日（日） | 13時30分～ | 小出コミセン | 大会議室 |
| ・ 10月運営委員会 | 10月16日（木） | 19時～ | 小出コミセン | 大会議室 |

5 閉会

・いただいた回答内容につきましては、まちぢから協議会連絡会で共有させていただきます。



<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScdKhDQ9Vx7nNZbfxMjxE7Ci9QDq28LrYO1jDJHLbtskynLqQ/viewform?usp=header>

(1) 地区名、自治会名、団体名をご記入ください。

☐ デジタル化は実施していない

☐その他 ()

※アンケートにお答えいただいた団体に研修会での事例紹介をお願いさせていただくことがありますので、ご協力をお願いいたします。その際には改めて事務局からご連絡させていただきます。

ご担当者名 () 連絡先電話番号 ()
メールアドレス ()

まちづから協議会連絡会事務局 電話：84-9781 FAX：84-9782 Mail：chigasaki-machiren@aioros.ocn.ne.jp

○部会名 社会福祉部会

○部会長 五十嵐清夫

○スローガン（標語） 健康長寿の地域づくり

○課題 未病改善・健康増進に向けた事業活動

○直近の活動状況（前回の報告からの進展・事業予定）

部会：8/27（水）19：00～（第1会議室）

1. 買い物（移動）支援に関する件

A班 予約型乗り合いバスの取り組みについて

イ. 井上バッテリーの近くにある堤15の看板が無くなっていた。
吉野さんから堤下自治会長に連絡して頂き、市の方に申請し、
現状復帰した。

B班 移動支援について

イ. 6月の「ほのぼの小出」の行事に、ふれあいの森から移動支
援の協力を頂いた。その経過を経て今後の事を考えると、1
事業所だけでなく複数の事業所をお願いしたいと思い、8/22
（金）ケア一会議を開催した。

ロ. 9月の「ほのぼの小出」で、トライとして新たに2事業所に
協力をお願いする事にした。

① ニッショウスマイルステーション大庭

② リフシア矢畑

2. 相州小出七福神巡りの件

イ. パンフレット・チラシ・横断幕のデザイン検討

ロ. 令和8年度 特定事業の予算案（別紙参照）

ハ. 七福神めぐりと連携した「小出地区クリーンキャンペーン」
について

ニ. 明治安田生命から健康チェック等のイベント参加について

3. 「歌声喫茶」に関する件

イ. B地区の交悠会では4月～毎月実施、やよい会の健友会では
8月までに3回実施。8/24に東部地区のゆめクラブ芹沢大谷
で第1回目を実施した。

各地区の老人会を手始めに開催し、良さを広めて行こうと考
えている。

ロ. 修正予算（案）（別紙参照）

4. その他

① 情報交換について

② 令和8年度に取り組む課題について

③ その他

次回 9/26（金）19：00～

小出地区まちぢから協議会 村越安芳会長殿

件名：「福祉の出前サービス」 歌声喫茶 （修正予算案）

社会福祉部会

部会長 五十嵐清夫

【令和7年8月1日～令和7年11月30日】

【収入】

単位（円）

項目	予算額	内 容
補助金	22,000	まちぢから協議会からの補助金
計	22,000	

【支出】

単位（円）

項目	予算額	内 容
物品費	22,000	・ 歌声喫茶で使用する備品 みんなで歌う心の歌の歌集 20冊分の購入費 1,100円×20冊＝22,000円
印刷 製本費	0	・ 開催通知類等は、通常の印刷製本費で行う
予備費	0	・ 予備費はなし
計	22,000	

○部会名 子ども育成 部会 ○部会長 佐藤 幸子

○課題 子ども達が地域の見守りの中で安心して学校生活を送ること

○短期的取り組み又は目標

見守り活動（小出小学校児童の登下校時）

見守りボランティアの募集

○直近の活動状況（前回の報告からの進展・事業予定）

7月

- ・ 登下校の見守り活動
- ・ 見守りボランティア募集のリチラシ配布
- ・ 北陽中通学路の道路の補修の件→市役所と現地確認したが大工事となると予算が無いのでこのまま様子見て都度補修とのこと

8月

- ・ 見守りボランティアの応援を小出ボランティアセンターに相談
- ・ 民生委員児童委員に応援依頼→2名登録

○部会名 防災部会 ○部会長 高木英明 運営委員会 (R7-09-18)

○課題 小出地区における自主防災活動を行う。

○令和7年度防災部会活動方針

- (1) 自治会単位防災訓練の支援バックアップ
- (2) 地区総合防災訓練の実施
- (3) 避難行動要支援者の個別避難計画作成支援

○直近の活動状況 (前回の報告からの進展・事業予定)

1 小出地区防災セミナー (8月24日(日) 13:30~15:30、小出コミセン大会議室)

- (1) 対象：小出地区の住民、メインテーマ：地域で創る防災対応
- (2) 基調講演 講師：山田秀砂(ひさ)さん(海岸地区まちぢから協議会副会長)
題目：茅ヶ崎市の公助を引き出す共助と自助
- (3) ワークショップ：参加者を地域別に4グループに分け、「茅ヶ崎市洪水・土砂災害ハザードマップ」の危険箇所を小出地区全図(自治会版)上で確認。
- (4) 参加者：登録32名+関係者 = 約40名、非常食(カレーゾット)のお土産

2 第2回防災部会 (8月24日(日) 18:00~19:30、小出コミセン大会議室)

- (1) 令和7年度小出地区総合防災訓練(11月9日(日)、北陽中学校)の実施計画
 - ・訓練の概要と当日のスケジュール(10月1日に自治会回覧予定)
 - ・自治会長への依頼(発送9月中旬→回答10月19日)
当日の参加想定人数の報告、炊き出し訓練担当者の推薦
 - ・防災部員への依頼
現場事前確認訓練 10月23日(水) 10:00 北陽中学校
当日の役割分担(避難所開設、受付、訓練誘導等)の確認
 - ・8月29日(金) 9:30 北陽中学校校長に面談して、詳細打合せ
 - ・9月26日(金) 13:30 防災対策課で詳細打合せ(予定)
- (2) 各自治会の自主防災組織からの活動状況アンケート回収報告
- (3) 小出地区防災セミナー(上記)の開催報告
- (4) 第3回防災部会(11月30日(日) 18:00~)開催予定
 - ・地区防災訓練(11月9日)の総括(参加者数、コメント等)
 - ・防災対策課による講演：茅ヶ崎市における津波避難対策について
- (5) その他
- (6) 出席者：防災部会役員、防災部員、自主防災組織の代表者、関係者ら28名

3 別添で、役員会に「小出地区まちぢから協議会補助金要望書」を提出します。

以上

小出地区まちぢから協議会運営委員会 (R7.9.18) 資料

防災部会長 高木英明

令和7年度小出地区まちぢから協議会支援金要望書

防災部会は、令和5年度認定コミュニティ特定事業補助金を除き、例年「繰越金+まちぢから協議会(令和3年度以前は自治会連合会)からの支援金70,000円+茅ヶ崎市からの地区防災訓練補助金」で活動しています。このうち、地区防災訓練補助金の算定根拠は

- ・防災訓練等に要した費用の4分の3(100円未満を切捨て)
- ・地区の自治会加入世帯数(小出地区は5,000世帯未満に応じた額として、70,000円)

のうち、少ない方の額です。過去2年の実績と令和7年度の支出予定は以下のとおりです。

令和5年度	収入	まちぢから協議会支援金	70,000円
		茅ヶ崎市地区防災訓練補助金	70,000円
	支出	防災資機材購入(コンプレッサー、ジャンパー)	100,000円
		事務消耗品等	約40,000円

令和6年度	収入	まちぢから協議会支援金	100,000円
		茅ヶ崎市地区防災訓練補助金	70,000円
	支出	防災資機材購入(スピーカー)	99,800円
		炊き出し材料等(豚汁材料費)	42,000円
		訓練消耗品、事務消耗品等	約30,000円

令和7年度	支出	防災訓練炊き出し材料等	50,000円
		事務消耗品、役員立替金清算等	約37,500円
		令和8年度への繰越金(部会運営費)	20,000円

令和7年度もこれまでと同様に、地区総合防災訓練を11月9日(日)に実施するために、市からの地区防災訓練補助金 $50,000円 \times 3/4 = 37,500円$ を申請する予定ですが、不足分の70,000円(これまでと同額)については、まちぢから協議会、または自治会連合会からの支援をお願いします。

幸いにも、小出地区は避難場所への集団避難を要するほどの大災害を免れています。地区防災計画ガイドライン(平成26年3月内閣府)に沿って、毎年度の防災訓練を含む防災部会の活動を続けるため、よろしくお願いします。

○部会名 県道七曲り整備 部会 ○部会長 石井 義雄

○課題

県道（47号・404号）が交差する小出交差点は日常的に渋滞・混雑が発生し生活環境や生活安全及び子ども達交通安全を脅かしている現状で早期に解決を図りたい。又404号線の通称七曲り（農協前～堤坂下）は安全面や防災面等で、大規模改善が必要な県道であり非常に難しい取り組みではあるが、将来にわたり解決に向けて関係行政・県会議員・市会議員・小出まちぢから協議会や自治会及び関係組織と連携を取りながら活動を強化していく。

○短期的取り組み又は目標

関係行政・県会議員・市会議員・小出まちぢから協議会や自治会及び関係組織と連携を取りながら住民集会等を開催して意見交換等を進めていきたい。

○直近の活動状況（前回の報告からの進展・事業予定）

8月24日会議を開催して、今までの経過確認及び今後の活動等確認した。難しい活動であり、小出住民の方々のご協力やご理解がなければ進むことが出来ない重要案件であります。また行政や議員の方々のバックアップが不可欠であり全員が確認致しました。

8月より1名入部致しました。

堤上自治会会長内藤茂氏

○部会名 下寺尾遺跡部会 ○部会長 宇尾野政徳

○課題 遺跡の価値をより多くの人々に知ってもらう、博物館、観光協会、
その他関連団体との連携

○短期的取り組み又は目標

下寺尾官衙遺跡群と環濠遺跡を保存活用し、地域の活性化に繋げる

○直近の活動状況（前回の報告からの進展・事業予定）

- 1、 下寺尾廃寺跡公有地巡視
公有地、北側北陵高校と民家の間チガヤが伸びが早く、50 cm位に伸び
てきている、9月17,18,19日市社会教育課にて草刈り実施予定、文化
祭前、10月16日遺跡部会で草刈り実施予定。
- 2、 10月26日開催予定の遺跡文化祭について、公有地にて、火起こし、
勾玉作り、土器作り、貫頭衣試着、吹矢を実施、アトラクションは下
寺尾太鼓、和楽会「昇」太鼓、トイドローン、物販は野菜販売等、担
当者、お手伝い概略決定。チラシ作成は10日まで。
ドローンによる撮影については事前に史跡を撮影しておき当日ビデオ
を流す、撮影日時について近隣へのご挨拶を行った。
- 3、 10月18日、社会教育課主催の川崎橘官衙見学へは、遺跡部会より4
名参加予定。
9月19日20日開催の北陵祭への遺跡紹介準備は随時参加。

次回遺跡部会令和7年10月15日（水）18時より（冬時間）

○課題

ごみの不法投棄による被害と環境破壊をこれ以上進行させない

○短期的取り組み又は目標

- ①ごみの不法投棄に対する対応と再発防止の為の課題抽出
- ②ごみの不法投棄防止の為の啓蒙活動
- ③環境事業センター（以下KJC表記）、警察との連携→監視カメラの有効活用
- ④不法投棄誘発地の荒廃改善活動

○直近の活動状況（前回の報告からの進展・事業予定）

1) 最近の不法投棄の情報交換(映像写真にて確認)

- ・8/6 小出橋の上流側にTV梱包のダンボール箱・8/2 小出小西門近くの歩道上に紙類伝票9002袋・7/30 斎場東側に玉葱・馬鈴薯入りビニール袋・7/27 斎場通り県設置カメラ付近にビニール袋2個

2) 小出コミセン祭りへの参加

- ・コミセンから10/5（日）開催のコミセン祭りに環境保全部会の活動紹介の展示をする。

3) 小出クリーンキャンペーンについて

- ・社会福祉部会が毎年1月に実施している「小出七福神巡り」の参加者にゴミを拾いながら巡って頂く（ポイ捨てゴミクリーンキャンペーン）を展開することを福祉部会に提案する。

4) 業者向けゴミの出し方のルールチラシについて

- ・KJCが小出地区で営業している業者に配布したチラシの改訂版の作成を検討する。色々な業者がいるので地域住民とも好関係を保つ切っ掛けになれるようなチラシ作成を検討する。

5) 部会報発行の件

- ・杉山編集長が原稿を集めて大まかなレイアウトは出来つつある。
8月末を目標に原稿を完成させる予定である。

6) 環境事業センターからの連絡事項

- ・斎場通り、芹東地内に県が設置した監視カメラの設置期限が満了となり、県からKJCに9月～11月の間に撤去或いはダミーカメラ置換を行うと通知があった。ダミーカメラへの置換を希望する旨伝えてあるが確定はしていない。撤去が基本条件のようだ。
- ・小出コミセン祭りでのゴミ回収は例年通りの協力体制を予定している。

今後の活動予定

- ・8/17（日）小出クリーンキャンペーンの打合せ。
村越まちぢ会長、五十嵐社会福祉部会長との打合せ
- ・8/20(水) 木山市議員、藤本市議員、藤村市議員と不法投棄対策に付いて打合せ。

継続課題（経過）

- ① 防犯灯設置の件—市安全対策課と連携中

*次回定例会は、令和7年9月20日（土）18時～

小出コミセン第1会議室にて

買物支援に関する取組の実施について

【取組概要】

車などでの移動や徒歩での遠出が難しく、日常の買い物に困難を抱える方を支援するため、次の企業による移動販売車にて民間の福祉施設や公共施設などを巡回し、日用品雑貨や食料品等を販売する取組を行います。

具体的には、令和6年度に締結した「茅ヶ崎市とスギホールディングス株式会社との包括連携に関する協定」に基づき、スギホールディングス株式会社（スギ薬局）による移動販売を令和7年9月8日から開始したことに加え、今後、新店舗のオープンに伴い市に営業があった株式会社マルエツによる移動販売を順次進めていきます。

市としては、今後も、地域ニーズの収集や移動販売車停留所の拡大、販売事業者の獲得に努め、引き続き、買物弱者への支援を行います。

【依頼事項】

株式会社マルエツによる移動販売の開始にあたり、停留場所の選定が必要となるため、各地区につき、2カ所程度の候補地を選定し、以下に記載する第2層地域支え合い推進員の地区担当者に連絡して、調整をしていただくようにお願いします。

※スギホールディングス株式会社の停留場所についての希望がある場合は、スギ薬局高田店（担当：楠山様 080-6571-0211）に直接ご連絡をお願いします。

連絡先：茅ヶ崎市社会福祉協議会（電話：85-9650）

第2層地域支え合い推進員一覧

茅ヶ崎	茅ヶ崎南	南湖	海岸	鶴嶺東	鶴嶺西	湘南
★奥村 江崎	★栢沼 溝口	★溝口 高橋	★溝口 高橋	★高橋 原田・栢沼	★原田 溝口	★栢沼 奥村
松林	湘北	小和田	松浪	浜須賀	小出	
★奥村 新田	★原田	★鈴木 奥村	★鈴木 高橋	★鈴木 原田	★高橋 原田	

★主担当者

事務担当
高齢福祉課
スギ薬局：須藤・渡部
（電話番号 81-7162）
マルエツ：本多・太田・三橋
（電話番号 81-7163）

～実施企業の概要～

①スギ薬局

実施会社	スギホールディングス株式会社 現在、市内で3店舗を経営。
実施時期	令和7年9月8日～ (停留場所:民間高齢者施設、しおさい南湖、松林ケアセンター、小出コミュニティセンター)
販売体制	車両:1台 専任スタッフ:1名
販売頻度等	原則として、事前に取り決めた日時・場所に訪問して販売 30分(設営等含む)
販売品目	おにぎり・パン・乳製品・バナナ・加工食品・健康食品・調味料・シャンプー・スタイリング剤・食器用洗剤・衣料用洗剤・おむつ・歯ブラシなど (生鮮食料品、医薬品は販売対象外)
販売スペース	標準的に必要な販売スペースは駐車場2台分
停留場所選定	「茅ヶ崎市とスギホールディングス株式会社との包括連携に関する協定」に基づき、市がしおさい南湖、松林ケアセンター、小出コミュニティセンターを選定し、スギ薬局は民間高齢福祉施設を中心に順次拡大。
停留要望連絡先	スギ薬局高田店(担当:楠山様 080-6571-0211)

②マルエツ

実施会社	株式会社マルエツ 現在、市内で2店舗を経営、令和7年11月に新店舗オープン予定
実施時期	令和7年11月以降(新店舗オープン後)
販売体制	車両:2台 専任スタッフ:3名
販売頻度等	原則として、週に1回、決められた場所に訪問して販売 60分(設営15分・販売30分・撤収15分)
販売品目	野菜・果物・肉・魚・牛乳・パン・加工食品・お米・調味料・日用品など
販売スペース	標準的に必要な販売スペースは、5×10m(駐車場5台分)
停留場所選定	自治会等の地域団体からの連絡を受け、第2層地域支え合い推進員の地区担当者を中心に各地区のニーズを把握し、販売スペースの候補地となる場所を選定(候補地は(株)マルエツの販売状況調査のうえ決定)
停留要望連絡先	第2層地域支え合い推進員の地区担当者(市社会福祉協議会)